

# (国) 150号大幡川橋側道橋 (国道橋梁補修事業)

平成25年12月

## 【位置図】



## 【現況】



検討案 ① 10B7/6



検討案 ② 採用

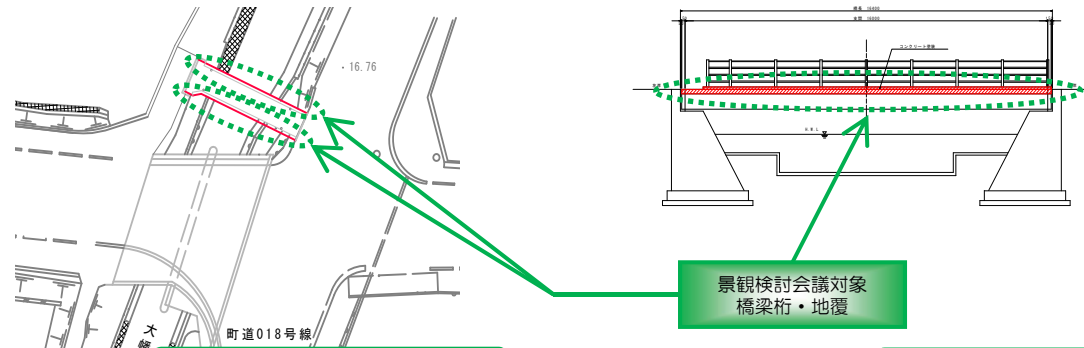


検討案 ③ 10YR2/1



## ●【工事の内容】

- (国) 150号(牧之原市大幡)大幡川橋側道橋は昭和53年に架設され、当該塗装は平成17年にマリン塗装により塗り替えられていましたが、すでに防食機能が劣化し始めており、経年変化や塩害等による鋼材の劣化が著しいことから、**塗装の塗替え工事**を実施します。今回の景観検討は、『橋梁桁・地覆』が対象とされました。



### ふじのくに色彩・デザイン指針 【留意事項】

- ・桁高を抑える(桁高を薄く見せる)ことに配慮する。
- ・構造から決まるシンプルな形態を基調とし、構造とは関係ない装飾は多用しない。
- ・桁高が大きい橋梁は重い印象を与えやすいことから、桁高を低く抑え桁をすっきりと見せる構造に配慮する。
- ・桁高を抑えることが困難な場合は陰影効果等により桁高を薄く見せる工夫を行う。

### 景観検討会議結果

- ・ふじのくに色彩・デザイン指針により、規制住宅地の橋梁基本色として設定されている。
  - ・周辺の既存住宅地の景観から浮き上がらない。
  - ・(国)150号の周辺橋梁との連続性を考慮する。
- 以上の理由により、『グレーベージュ』を採用する。